

【平成 27 年 10 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

静岡県商工会連合会

静岡県商工会連合会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび平成 27 年 10 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

記

1 調査概要

- (1) 調査時点 平成 27 年 10 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 38 商工会（うち 38 商工会より回答）【回収率 100%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）**【10 月期の産業全体の業況 DI は全業種で悪化】**

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-31.3（前月-10.7、前年同月-27.4）で、前月と比べ 20.6pt 悪化した。10 業種中全業種で悪化を示した。建築業では、新築工事がほとんど無く修理程度であった事、小売業では、例年より気温が高く、衣料品の秋・冬物の動きが鈍い事が悪化の一因と考えられている。

【製造業】

業況は-15.4（前月-6.2、前年同月-14.0）と前月と比べ 9.2pt 悪化した。食料品製造業では、依然として、原材料の高騰が続き影響が大であるとの声が聞かれた。機械金属製造業では、車両の製造台数・販売台数共に、前年同月の 1 割程度の減少である、車の新規部品は、海外生産へ移行しているとの声も聞かれた。

【建設業】

業況は-39.0（前月 2.6、前年同月-13.1）と前月と比べ 41.6pt 悪化した。公共工事に関しては年末にかけて期待しているが受注は厳しいとの声があった。利益幅はあまり期待できない状況が続いており、多くを望まず人件費を賄える程度の利益幅での受注で展開しているとの声があった。

【小売業】

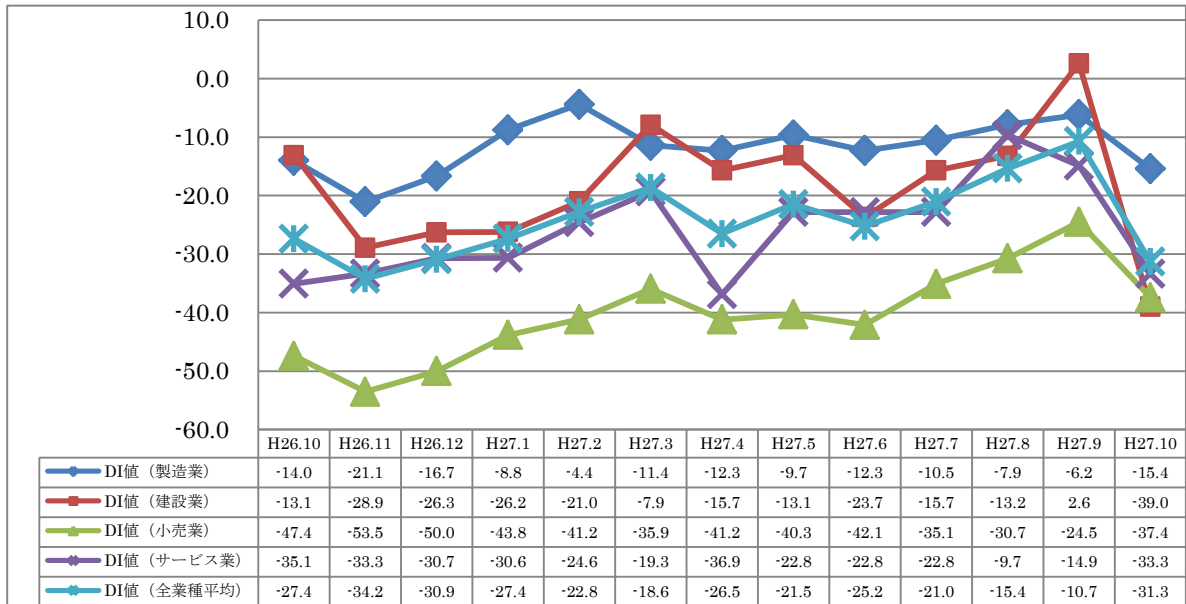
業況は-37.4（前月-24.5、前年同月-47.4）と前月と比べ 12.9pt 悪化した。各業種の業況 DI も悪化した。全体として、商品の動きが鈍く、消費者の買い控えや節約ムードから消費単価が低くなっているとの声が聞かれた。耐久消費財については、商品の売上よりも修理等が多いとの声が聞かれた。

【サービス業】

業況は-33.3（前月-14.9、前年同月-35.1）と前月と比べ 18.4pt 悪化した。旅館業では、地域によりバラつきがあるが、インバウンドの観光客も以前に比べ少なくなっている感があるとの声や、3 連休があったが満室にはならず景気が回復していないとの声があった。理美容業では、常連客の 1 回ごとの来店周期が伸びている感があるとの声があった。

3 本調査に関するお問合せ 静岡県商工会連合会経営管理課 ☎054-255-8080〔担当：池谷、吉本〕

<平成 27 年 10 月期 業種別業況 DI 推移表>



<経営指導員コメント抜粋>

【製造業】(食品製造業・繊維工業・機械金属製造業)

- 管内製造業全体での景況が良好とまで判断できる情報を収集できていない。受注好調な事業所がある一方、管内有力事業所の経営破綻があった。(富士駿東)
- 先行きが見えず不安との声が多い。仕入値の上昇と売上の回復が見込めない事が一因。(中東遠)
- 機械金属で今年中の仕事は十分にあるが、残業や休日出勤する程にない。(西遠)
- 原材料価格の高騰及び親会社からの圧力により収益悪化が続く。(西遠)

【建設業】

- 市内需要が大幅に減少している。新築に関しても昨年度とは明らかに減少している。(伊豆)
- 引き続き労働力不足が経営課題となっている。(中部)
- 材料単価は横ばいだが、人工不足で単価は上昇傾向にある。(中東遠)
- ベテランが高齢化し、技術の長けた人材が少なくなった。技術的と人手不足が深刻化。(中東遠)
- 材料費の高騰の影響は大きく、民間・公共工事ともに厳しい。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食品小売業・耐久消費財小売業)

- 衣料品については、ネット等でも単価が安くなり販売されている為売れない。(伊豆)
- 地区内小売業全体を総括し低迷している。しかし、補助金を利用し店舗改装や新商品開発を行う事業所も複数あり、今後に期待する。(中部)
- プレミアム買物券も一段落したが、目に見える様な成果があったとは言い難い。(中東遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- 富裕層の中国人客を受け入れている、マナーが良い。(伊豆)
- チェーン店などに流れているのか、家で食事をとっているのか、グループや家族連れの外食が減少。(中東遠)
- 旅館で宴会等かなり少ない。店と反対側の駅北の整備により来店客もかなり減少した。(西遠)

小規模企業景気動向調査(平成 27 年 10 月期)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-24.4	-10.6	悪化
売上	-22.0	2.6	減少
仕入単価	14.7	42.1	低下
採算	-24.4	-10.5	悪化
資金繰り	-21.9	-15.8	悪化

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-17.0	-13.2	悪化
売上	-12.2	-7.9	減少
仕入単価	0.0	0.0	不変
採算	-17.1	-7.9	悪化
資金繰り	-14.6	-5.3	悪化

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-4.9	5.3	悪化
売上	-0.1	10.5	減少
仕入単価	4.9	15.8	低下
採算	-7.3	-7.9	好転
資金繰り	-14.7	-7.9	悪化

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-39.0	2.6	悪化
売上	-29.2	0.1	減少
仕入単価	7.4	28.9	低下
採算	-34.2	-15.8	悪化
資金繰り	-29.3	-15.8	悪化

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-41.5	-28.9	悪化
売上	-41.5	-21.1	減少
仕入単価	-2.5	23.7	低下
採算	-34.2	-21.0	悪化
資金繰り	-34.1	-10.5	悪化

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-39.0	-21.0	悪化
売上	-36.6	0.0	減少
仕入単価	12.2	44.8	低下
採算	-36.5	-5.3	悪化
資金繰り	-34.1	-13.1	悪化

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-31.7	-23.6	悪化
売上	-26.9	-10.6	減少
仕入単価	-4.9	31.6	低下
採算	-26.8	-10.6	悪化
資金繰り	-26.8	-10.5	悪化

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-31.7	-5.2	悪化
売上	-22.0	2.7	減少
仕入単価	2.5	26.3	低下
採算	-19.6	0.0	悪化
資金繰り	-21.9	-5.2	悪化

9.洗濯業

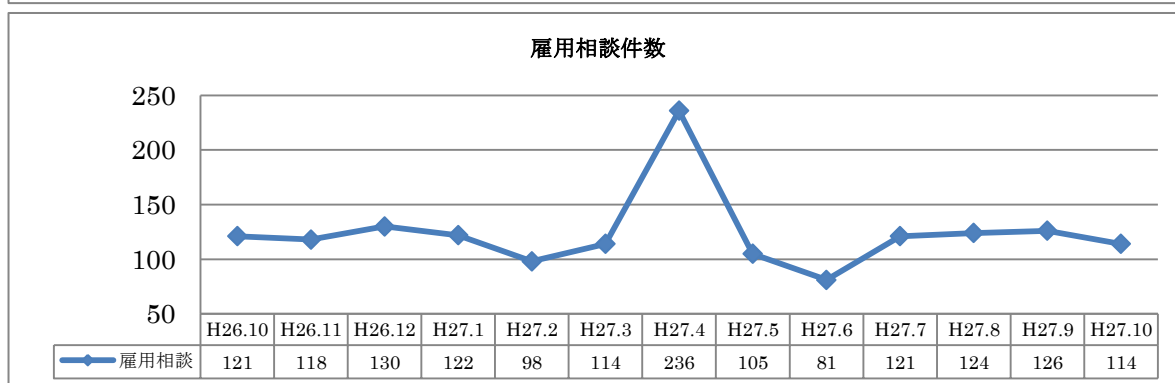
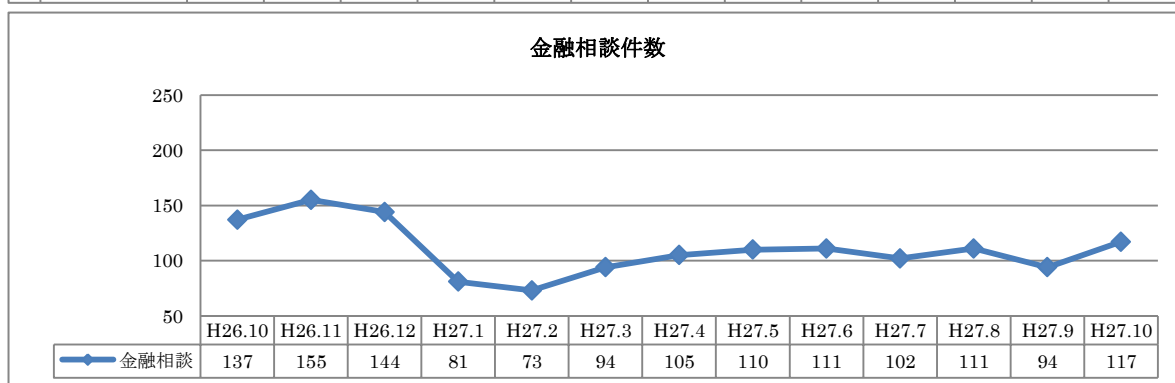
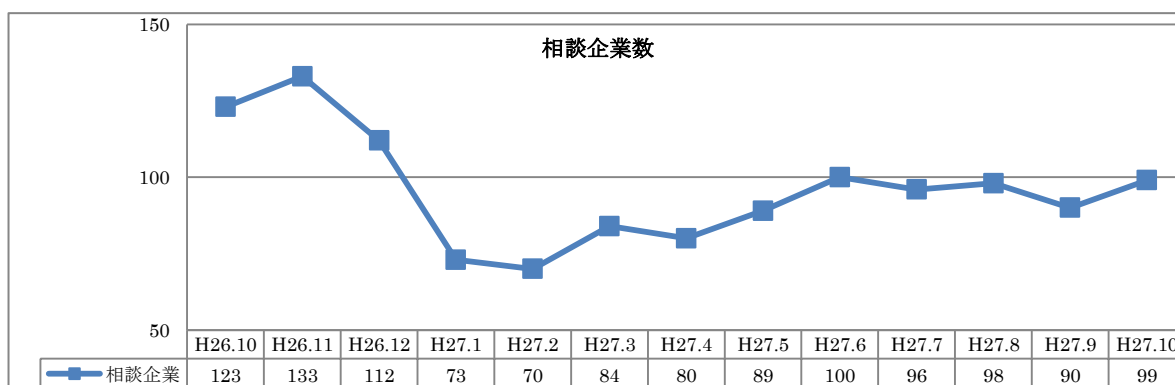
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-36.5	-23.6	悪化
売上	-34.1	-7.9	減少
仕入単価	2.4	23.7	低下
採算	-26.9	-7.9	悪化
資金繰り	-24.4	-7.9	悪化

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-31.8	-15.8	悪化
売上	-34.1	-5.3	減少
仕入単価	2.4	10.5	低下
採算	-29.3	-10.5	悪化
資金繰り	-22.0	-7.9	悪化

金融・雇用相談実績月次報告(平成 27 年 10 月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	99	90	9
【金融相談件数】	117	94	23
新規融資（借換えを除く）	61	62	-1
既存債務の借換え	41	20	21
借入れ条件変更	5	2	3
消費者金融・商工ローン関連	4	0	4
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	6	10	-4
【雇用相談件数】	114	126	-12



【金融相談】

金融相談件数は、117件と前月(94件)に比べ23件増加した。相談内容については、新規融資の相談、その他が減少し、既存債務の借換え、借入れ条件変更、消費者金融・商工ローン関連が増加した。

<経営指導員コメント>

- ・前向きな設備資金相談が多い。(伊豆)
- ・店舗改装や仕入れ資金の為の融資相談が徐々に増えてきた事から、若干ではあるが景気回復が伺える。(中部)
- ・金融需要は相変わらず低調。代位弁済が増加(倒産等)。(中部)
- ・林業グループから林業機材購入融資希望有り。日本政策金融公庫農林水産事業部と交渉。任意団体ながら低利な融資制度を活用。(西遠)
- ・金融円滑化の影響があり、融資相談において政策公庫と金融機関との協調融資になるため、保証協会の要求が厳しくなっている。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、114件と前月(126件)に比べ12件減少した。離職に関する手続き等、雇用保険の取得と喪失の相談があった。また、3K職種は求人を出してもなかなか集まらず、採用しても長続きしないとの地域もあった。

<経営指導員コメント>

- ・今月の雇用の相談は離職に関する相談が3件、新規採用の相談は1件だった。景気上向きになっていると言いつつも採用が伸びない。(富士駿東)
- ・有効求人倍率は1以上となったが非正規雇用が中心。(中部)
- ・最近、求人に関する相談が多い。求人を出しても思うように人が集まらないとの事である。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・テレビ番組「イチから住」の放映が始まった。芸能人夫婦が田舎暮らしするドキュメンタリー番組である。この結果、不動産照会が商工会に23件あった。内、成約につながりそうなのは現在1件である。(富士駿東)
- ・市、会議所、商工会で実施する「個店めぐりスタンプラリー」事業を昨年に続き2回目の開催を予定、参加店の取りまとめを実施。(中東遠)
- ・地元NPOと浜松市の老舗和菓子屋と、雑穀を使った新製品を発表した。今後の展開に期待したい。(西遠)
- ・10月25日産業まつりあらいじゃんを実施した。今年は20周年記念開催だったため、例年より情報発信に注力した。(西遠)